

令和2年度 専門課程 学校関係者評価委員会議事録

1. 日 時：令和3年3月15日（月）16時～18時

2. 会 場：トーラス1F

3. 委員名簿：

名 前	所 属	任 期	種別
青木 伸晃	株式会社トーカイ・アピ ア 取締役専務	平成31年3月～令和3年3月（2年）	卒業生
石原 傳也	株式会社オブリ 代表取締 役	平成31年3月～令和3年3月（2年）	元保護者会 長
大角 勇雄	大垣タクシー株式会社 代 表取締役	平成31年3月～令和3年3月（2年）	学校評議員

学校側参加者：校長 平野 宏司、副校長 岡本 春信、ファッション科主任 久保田百合子
情報デザイン科主任 西村 佳子

4. 学校関係者評価の基本方針

卒業生、保護者、地域住民、企業、学識経験者等の委員からなる学校関係者評価委員会は、当校の教育活動についてそれぞれの立場や知見、経験から意見を述べ評価を行う。委員会の評価結果を当校ホームページに公表するとともに、PDCA サイクルにより教育活動その他の学校運営の改善に活かすことを基本方針とする。

5. 議事

(1) 開会の言葉（岡本副校長）

(2) 校長挨拶（平野校長）

(3) 学校より説明

ア. 当校の1年間の教育活動を紹介するプレゼンテーション

- ① 近隣優良日本語学校を指定校とし、学生を推薦してもらう。
- ② 入学試験（日本語筆記試験、面接）で日本語力（日本語検定 N3 程度）と動機等確認。
- ③ R3 合格者決定 ファッション科 18 人、情報デザイン科 22 人
- ④ 学習環境整備 新校舎建設、机・椅子等備品整備
- ⑤ コロナ感染予防 消毒徹底、三密回避、玄関に温度計設置、留学生に消毒液、体温計貸し出し
- ⑥ 学生生活指導 ビザ更新、寮、交通指導、生活指導（ゴミ出し等）掃除、あいさつ
給付金、日本語、出席、アルバイト、当校独自の奨学金

成果 ○実質6月からの学習であったが、ファッション科・情報デザイン科ともにまじめに学習していた。

○ファッション科 基本アイテム（スカート・パンツ・シャツ等）の製作、ファッションショーの実施、理論系科目の理解、デザイン画入選（日本人）

○情報デザイン科 基本的なビジネスソフト及びプログラムの理解、プレゼンテーション練習

○留学生は日本語 N1 1名 N2 1名 合格

○コロナ感染防止は徹底できている。（しかし他校の留学生でクラスターがでているので収束まで油断はできない。）

課題 ○コンテストなどが中止となっているので、校内での目標を作る。留学生には、奨学金給付を行う。（例えば日本語検定 N2 取得、皆勤等）○日本人と留学生の技術差が大きい。（特にファッション科）留学生に手がかかるぶん、日本人にももっと指導が

必要。○学習外の留学生支援（ビザ更新、学費徴収、小さなトラブル、コロナ感染していないか、オーバーワーク、夜中のアルバイトによる疲労、出席状況（7割を切るとビザが更新されない））が大変である。○コロナの影響で、今年度の学園祭・大垣ファッションフェスティバルができなかった。（一部 youtube で配信、卒業式にもビデオ上映）オープンキャンパス・入試は予定通り行えた。ズームで一部遠隔授業を行った。○来年度の職員・部屋の確保（教育課程の見直しも）○少しでも卒業後の働き口を開拓する。

イ．職業実践専門課程および学校関係者評価委員会の説明（岡本）

○「職業実践専門課程」とは・・・専門学校のうち、企業等と密接に連携して、最新の実務の知識・技術・技能を身につけられる実践的な職業教育に取り組む学科を文部科学大臣が「職業実践専門課程」として認定する。

認定のポイント

- ① 「教育課程編成委員会」を設置 ②企業等と連携して授業を実施 ③企業等と連携して教員研修を実施
④ 「学校関係者評価」を実施 ⑤ HP でカリキュラム他の情報提供

学校関係者評価委員会は、職業実践専門課程の認定を目指す中で、本校の実践的な職業教育・専門教育の質的向上を図ることを目的とする。

○令和2年3月25日 職業実践専門課程の認定を受ける

（参考 県内認定校 大原法律公務員専門学校岐阜校 大原簿記医療観光専門学校岐阜校

岐阜県立国際園芸アカデミー 岐阜調理専門学校 岐阜美容専門学校 サンビレッジ国際医療福祉専門学校

専修学校中部国際自動車大学校 中日本航空専門学校 ベルフォート・アカデミーオブビューティ）

ウ 「自己評価」学校説明 （別紙）

6. 「自己評価」に対するご意見

○コロナ禍の中で、学生支援をしているようすがよくわかった。アパート、アルバイトなども気を配っている。スケジュールもしっかりとしている。自己評価が全体的にきびしいと思われる。

○制限がある中で、教育活動に学校がよく取り組んでいる。留学生と日本人の交流は大切である。

自己評価をもう少しあげるとよい。

○発展途上国の学生が多いので、目標をクリアーにしてあげることが大切である。学校の評価はもっとあげてもよい。

7. 全体協議

ア 昨年度のご意見と改善点

○新校舎はどのようなものか。

→旧校舎から3分の場所にある。wifi 環境、ミシン、パソコンも整え、学習しやすい場所とする。シャワールームをつけるので、多目的で利用可能である。

○企業として外国人を受け入れる大変さを経験しているので、企業として力になることができれば、協力したい。

→心強いおことばをちょうだいし、ありがたいと思います。企業訪問などさせていただけるとありがたいです。職種業種に限らず、日本の職場をみたり、従業員さんとことばを交わすことが日本を知るうえで大切なことだと思われる。

○住まいはどうなっているか。ある日突然いなくなることがある。しっかりしたフォローをすることが大切である。

→学生を大事に一人ひとりを見ることを大切にしている。オフについても気に掛けるため、アパートを借り受けたが、今までのアパートを代わりたくないのか、まだ空きが埋まらない。またコロナ禍の中、突然帰国してしまった学生もでた。ほかにもコロナが関係していると思われる事例もあった。学費の支払いを猶予したり、相談にのったりしている。まだこの状態は続くと思われるので、来年度も継続的に支援していきたい。

○スポーツ活動をするとうい。自分も母校がスポーツで有名になったが、スポーツはコミュニケーションをとりやすい。スポーツで伸びると学生集めがしやすい。

(学校) 当法人は高校があるので、それを生かして高校生と留学生とのスポーツ交流を考えていたが、今年はコロナ禍で残念ながらできなかった。来年度は機会があれば考えたい。校外活動もできなかったが、せめて大垣市のことは知るために、スイトピアセンターや芭蕉関連の地は全員で廻った。

イ 今年度のご意見

○フェイスブックに力をいれている、ということで大変よい。今後も発信に力をいれてほしい。

○コロナが続いているが、学園としてぶれずに前に進んでほしい。

○資格はどのようになっているか。留学生としては就職のために、例えば自動車免許などをもっていたほうが有利かもしれない。また企業としては日本語ができる人材がほしいので日本語検定を積極的に受けさせるとよい。その他の検定があれば、積極的に受けさせてほしい。

8 当校学校関係者評価委員 再任のお願い 令和3年3月～令和5年3月

9 校長まとめとお礼

10 事務連絡 ○交通費の印鑑またはサインのお願い ○次回開催 令和4年3月

(学校関係者評価結果の公表方法・公表時期)

(1) ホームページ URL: <https://vn.hirano.ac.jp/>

(2) 公表時期: 令和3年5月1日